

税金の使われ方を見てみよう。

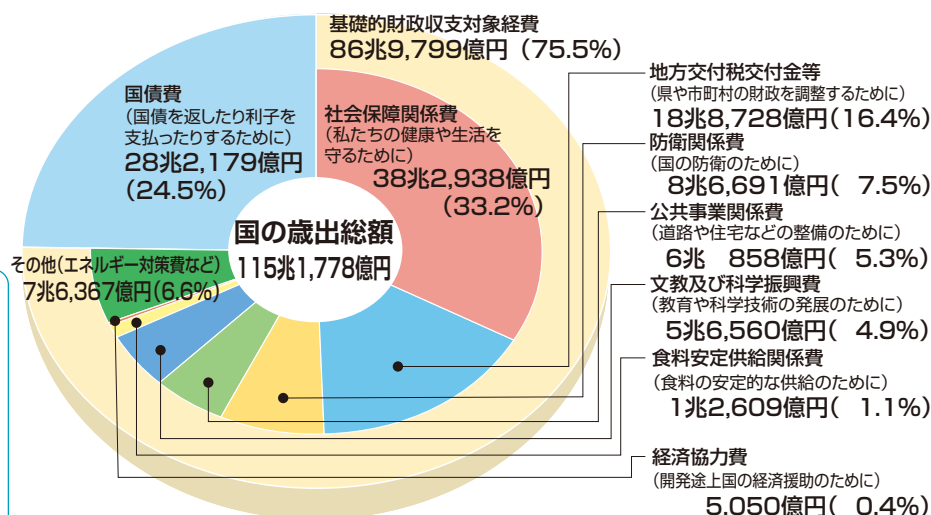
税金などは、次の円グラフのように、国と千葉県が4月から翌年3月までの1年間に活動するために支出されます。この支出のことを「歳出」といいます。

国の一般会計歳出の内訳

国の支出について、その使いみちは、有権者が選挙で選んだ代表が国会で決めています。私たちが、より豊かで安心して生活できるように、多くの費用が使われていることがわかります。

税金1,000円の使いみち

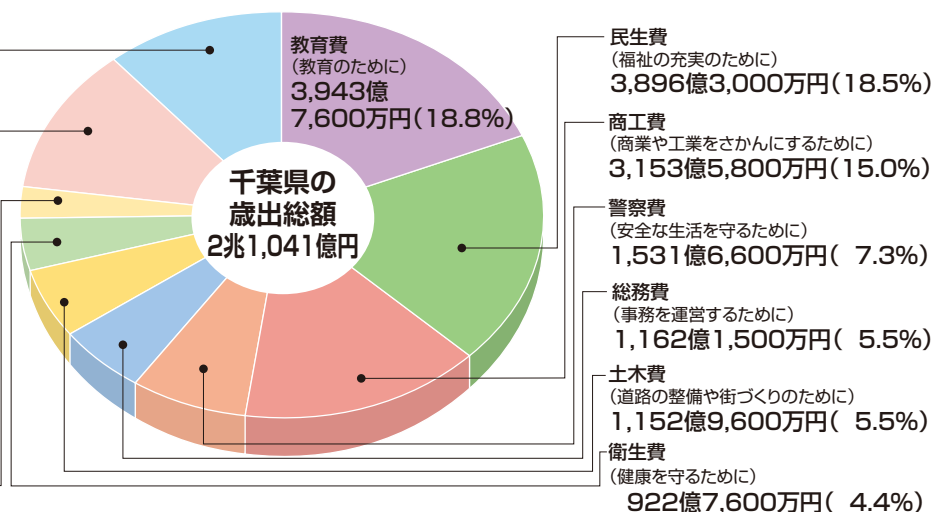
私たちの健康や生活を守るために	333円
県や市町村の財政を調整するために	164円
国の防衛のために	75円
道路や住宅などの整備のために	53円
教育や科学技術の発展のために	49円
食料の安定供給的な供給のために	11円
開発途上国のために	4円
その他	66円
国債を返したり利子を支払ったりするために	245円



千葉県の一般会計歳出の内訳

千葉県では、私たちの普段の暮らしに結びついた公共サービスを行っています。歳出のうち、教育費が全体の18.8%という高い比率であることがわかります。そのほか、私たちが安心できる生活づくりに直接関わることに、多くの費用が割り当てられています。

公債費	
(県債を返したり、利子を払うために)	
2,341億9,100万円	(11.1%)
その他	
2,403億1,300万円	(11.4%)
農林水産業費	
(農林業・漁業を助けるために)	
533億2,900万円	(2.5%)



【予算】

③ キーワード

1年間の収入(歳入)や支出(歳出)を、あらかじめ見積もって計画したものを「予算」といいます。

新しい年度が始まるまでに予算が決まらないときは、「暫定予算」という一時的な仮の予算が組まれます。また、大きな災害が起きたり、社会経済の状況が変わり、用意していた予算で足りなくなった場合には「補正予算」が組まれます。

【一般会計と特別会計】

④ キーワード

「一般会計」とは、国や地方の基本的活動を行うために必要な歳入、歳出を経理する会計のことをいいます。

これに対して、「特別会計」とは、国や地方が行う特定の事業や資金を運用するために一般会計と区分して設けられた会計のことをいいます。